



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月8日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 修次
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03(5962)1119
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	29,553	△3.0	2,231	11.4	2,294	10.6	1,305	11.2
27年2月期第1四半期	30,455	17.2	2,003	19.3	2,074	19.5	1,174	13.9

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 1,498百万円 (28.0%) 27年2月期第1四半期 1,170百万円 (△14.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	23.47	—
27年2月期第1四半期	21.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	60,286	29,880	29,880	29,992	49.6	537.11
27年2月期	62,805	29,992	29,992	—	47.8	539.12

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 29,880百万円 27年2月期 29,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	26.00	26.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	△0.9	2,500	△0.3	2,550	△3.0	1,500	△2.1	26.96
通期	108,000	4.7	5,600	7.5	5,700	4.9	3,400	6.5	61.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期1Q	59,948,294株	27年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	4,316,002株	27年2月期	4,315,842株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期1Q	55,632,395株	27年2月期1Q	55,632,542株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注高および売上高の状況	10
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注高および売上高の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	30,455	29,553	△902	△3.0
営業利益	2,003	2,231	228	11.4
経常利益	2,074	2,294	219	10.6
四半期純利益	1,174	1,305	131	11.2

当第1四半期連結累計期間（平成27年3月1日～平成27年5月31日）のわが国経済は、企業収益が総じて改善傾向にあるなか、雇用・所得環境の改善に加え、個人消費にも持ち直しの兆しがみられるなど、ゆるやかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、エンドユーザーの視点に立ってお客様の事業繁栄を実現する「プロスペリティ・パートナー」への進化を追求するため、中期経営計画（平成27年2月期～平成29年2月期）に則り、「ナンバーワンの価値の連鎖」をテーマに、お客様への提供価値の向上を目指してまいりました。

当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高は295億53百万円（前年同期比3.0%減）となり、消費税増税にともなう駆け込み需要のあった前年同期に比べると減少いたしました。利益面におきましては、採算を重視した受注の徹底や原価低減への継続した取り組みなどが寄与し、営業利益は22億31百万円（前年同期比11.4%増）、経常利益は22億94百万円（前年同期比10.6%増）、四半期純利益は13億5百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

首都圏をはじめ、地方都市の駅周辺における商業施設の空間演出を手掛けた複合商業施設市場のほか、科学館の大規模改修などをおこなった博物館・美術館市場が増加いたしました。前年同期に大型案件があった余暇施設市場やその他市場が落ち込み、売上高は290億9百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

しかしながら、前記のとおり、採算を重視した受注の徹底や原価低減への継続した取り組みなどが寄与し、営業利益につきましては21億71百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

（単位：百万円）

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	大型書店やアパレル関連店舗のほか、インポートブランドや金融機関などの店舗内装制作等	12,666	12,048	△617	△4.9
百貨店・量販店市場	首都圏や近畿圏における百貨店のリニューアル等	2,100	2,013	△86	△4.1
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	再開発にともなう駅周辺の商業施設における空間演出等	2,435	3,143	707	29.0
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	電機や自動車のほか、エネルギーや住宅関連企業におけるショールームの展示制作等	4,075	4,276	200	4.9
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	環境や科学、歴史に関する施設の展示制作、指定管理者制度 ^(注1) にもとづく施設の管理・運営等	2,377	4,233	1,856	78.1
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテイメント施設、動物園、水族館等)	ホテルやテーマパークのリニューアル等	2,777	1,003	△1,774	△63.9
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイベント等	194	72	△122	△62.7
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、プライダル施設、サイン、モニュメント等)	「マチハコ」 ^(注2) を利用したプロスポーツ企業のグッズショップ設置やゴルフ場のクラブハウスの改装等	3,179	2,218	△961	△30.2
ディスプレイ事業		29,807	29,009	△797	△2.7

(注) 1 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されています。

2 マチハコ：コンテナ的建築工法を活用した空間作りのブランド。低コストで、より短期間に、狭小かつ不定形な土地も含め、建物を設置し事業を開始することが可能です。

②飲食・物販事業

博物館や科学館などのミュージアムショップや商業施設における飲食店・物販店の運營業務を手掛けましたが、平成25年12月にオープンした羽生パーキングエリア「鬼平江戸処」（東北自動車道／埼玉県羽生市）における飲食・物販店の開業景気が一段落したことなどにより、売上高は5億43百万円（前年同期比16.2%減）、営業利益は78百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、602億86百万円(前連結会計年度末比25億18百万円減)、負債は304億5百万円(前連結会計年度末比24億7百万円減)、純資産は298億80百万円(前連結会計年度末比1億11百万円減)となりました。

総資産は、前期末未成案件が完成し、たな卸資産が減少したことにより減少しております。

負債は、前期末完成案件の支払手形及び買掛金が大幅に減少したことにより減少しております。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しておりますが、配当金の支払いにより減少しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.8%から49.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月8日発表の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が254百万円増加し、利益剰余金が163百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため記載を省略しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,504	18,908
受取手形及び売掛金	19,518	15,627
たな卸資産	8,644	7,469
繰延税金資産	1,009	1,115
その他	1,232	926
貸倒引当金	△27	△23
流動資産合計	45,882	44,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,031	10,017
土地	5,463	5,463
その他	1,962	1,977
減価償却累計額	△6,761	△6,874
有形固定資産合計	10,695	10,583
無形固定資産	1,583	1,914
投資その他の資産		
投資有価証券	3,522	2,693
その他	1,468	1,418
貸倒引当金	△348	△347
投資その他の資産合計	4,642	3,764
固定資産合計	16,922	16,261
資産合計	62,805	60,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,203	15,516
短期借入金	261	212
未払法人税等	1,571	961
前受金	3,294	2,993
賞与引当金	1,033	1,626
工事損失引当金	35	17
その他の引当金	79	79
その他	3,312	2,825
流動負債合計	26,793	24,232
固定負債		
退職給付に係る負債	4,428	4,739
その他の引当金	90	99
その他	1,500	1,335
固定負債合計	6,019	6,173
負債合計	32,812	30,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	16,630	16,326
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	28,898	28,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734	917
土地再評価差額金	482	507
為替換算調整勘定	223	219
退職給付に係る調整累計額	△346	△357
その他の包括利益累計額合計	1,094	1,286
純資産合計	29,992	29,880
負債純資産合計	62,805	60,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	30,455	29,553
売上原価	25,640	24,154
売上総利益	4,814	5,399
販売費及び一般管理費	2,811	3,167
営業利益	2,003	2,231
営業外収益		
受取利息	10	5
受取配当金	5	13
仕入割引	19	20
還付加算金	15	—
その他	23	27
営業外収益合計	74	66
営業外費用		
支払利息	3	4
その他	0	0
営業外費用合計	3	4
経常利益	2,074	2,294
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
事業構造改善費用	—	124
特別損失合計	4	124
税金等調整前四半期純利益	2,071	2,169
法人税等	897	864
四半期純利益	1,174	1,305

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
四半期純利益	1,174	1,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	182
土地再評価差額金	—	24
為替換算調整勘定	△25	△3
退職給付に係る調整額	—	△10
その他の包括利益合計	△3	192
四半期包括利益	1,170	1,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,170	1,498

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,807	648	30,455	—	30,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	5	6	△6	—
計	29,808	653	30,462	△6	30,455
セグメント利益	1,919	103	2,023	△19	2,003

(注) 1 セグメント利益の調整額△19百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,009	543	29,553	—	29,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	1	3	△3	—
計	29,011	544	29,556	△3	29,553
セグメント利益	2,171	78	2,249	△18	2,231

(注) 1 セグメント利益の調整額△18百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注高および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	11,802	11,148
百貨店・量販店市場	1,636	1,798
複合商業施設市場	2,821	2,915
広報・販売促進市場	4,474	4,586
博物館・美術館市場	1,925	2,814
余暇施設市場	2,219	1,214
博覧会・イベント市場	100	669
その他市場	2,507	2,980
ディスプレイ事業 小計	27,487	28,127
(飲食・物販事業)	—	—
合計	27,487	28,127

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	10,784	7,509	9,571	7,362
百貨店・量販店市場	1,424	825	1,695	1,094
複合商業施設市場	3,123	3,308	2,589	3,469
広報・販売促進市場	4,984	5,393	4,751	3,749
博物館・美術館市場	2,919	4,868	2,370	5,278
余暇施設市場	1,818	2,294	1,934	2,110
博覧会・イベント市場	206	159	343	987
その他市場	1,910	3,037	779	2,542
ディスプレイ事業 小計	27,172	27,397	24,033	26,594
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	27,172	27,397	24,033	26,594

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	12,666	12,048
百貨店・量販店市場	2,100	2,013
複合商業施設市場	2,435	3,143
広報・販売促進市場	4,075	4,276
博物館・美術館市場	2,377	4,233
余暇施設市場	2,777	1,003
博覧会・イベント市場	194	72
その他市場	3,179	2,218
ディスプレイ事業 小計	29,807	29,009
(飲食・物販事業)	648	543
合計	30,455	29,553

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注高および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	12,500	11,561
展示制作	6,099	6,555
環境演出制作	1,120	1,271
販促品制作	322	265
企画・設計・監理	1,933	3,292
その他	5,511	5,179
ディスプレイ事業 小計	27,487	28,127
(飲食・物販事業)	—	—
合計	27,487	28,127

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 生産高の金額は販売価格によっております。
3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	9,927	9,348	9,165	9,888
展示制作	5,071	6,594	5,928	6,847
環境演出制作	973	1,635	1,268	1,322
販促品制作	1,702	1,427	254	135
企画・設計・監理	2,833	4,539	3,125	4,337
その他	6,662	3,852	4,290	4,063
ディスプレイ事業 小計	27,172	27,397	24,033	26,594
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	27,172	27,397	24,033	26,594

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	14,226	11,871
展示制作	5,433	6,636
環境演出制作	1,122	950
販促品制作	313	246
企画・設計・監理	2,003	3,634
その他	6,707	5,669
ディスプレイ事業 小計	29,807	29,009
(飲食・物販事業)	648	543
合計	30,455	29,553

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。